

## 今村復興大臣記者会見録

(平成28年8月31日(水)16:10～16:18 於) 中央合同庁舎8号館1階)

### 1. 発言要旨

今日、丸川大臣に初めてお会いしまして、大変有意義な会談ができたと思っております。特にリオで日本選手団があれだけ活躍されたものですから、大臣も大変御機嫌良かったので、うまくいくんじゃないかなと、よく話を聞いてもらえたんじゃないかなという自信がつかしました。

### 2. 質疑応答

(問) 改めてという形になるんですが、どういうことを大臣に対して要請されたんでしょうか。

(答) 今も言いましたように、このリオでの勢いを是非東京五輪に向けて、そして、その勢いがさらに東北の復興にも力になるようにということで、是非お力添えをお願いしますということを行いました。

(問) 実際に話されてみて、丸川大臣の印象というか、どういう感触をお受けになったのでしょうか。

(答) 非常に前向きに受け止めていただきまして、それで、いろいろなこともあったのですが、特に女性らしく、例えば食材とか、そういったこともあるし、子どもたちが元気で喜ぶようなことも一緒にやっていこうよとか、そういったことはやっぱり、さすが女性らしいなと思いました。

(問) 改めて東北のほうで開催されることの意義について、大臣、どのようにお考えになっておりますでしょうか。

(答) これはもう是非正式競技を最低一つ、できればもうちょっとやってほしいのですが、そういったことが一つ、そしてもう一つは、いろいろなキャンプ地だとか、ホストタウンとか、いろいろありますから、それに東北の人たちが、俺のところに来いとか、俺の町はこういうのがあるよということ、正に自分で掘り起こしていただいて、それをどんどんアピールしてくれと、そういうのを我々復興庁がしっかり受けてやりますよと。丸川大臣からも言われたんですが、自分のところはそんなに人手がないと、だから、東北の復興でそういったいろいろな取組については、是非復興庁に力を貸してくださいという話がありましたので、もちろんですと。我々もこういった趣旨を踏まえて、とにかく東北の復興の力になるために、いろいろなことをやっていこうと。これはもうそのとき、オリンピックが開かれるときだけじゃありませんから、

前もっているいろいろなことをやっていく、そういったものが、やっぱり正に未来への希望というか、そういったことになって、いろいろな形で、みんなが元気を出して、さあやるぞという気持ちになっていくんじゃないかという気になるんじゃないかということ、そういったことも含めてお願いしました。

(問) 被災地での五輪種目の予選の開催であったりとか、キャンプ地としての利用以外にも、例えば津波被害の激しかった浜通り地域沿岸部での聖火リレーの実施であったり、そういったことも高木前大臣から案としてというか、そういったものもあったと思うんですが、これについては大臣はどうお考えですか。

(答) これは1年ちょっと前、確か去年11月に、いろいろな基本方針の中で具体的に出ています。しかし、それにこだわらずに、いろいろなアイデアが出てくるとお思いますから、そういったものをどんどん取り入れながら、楽しい盛り上げにしていきたいなというふうに思っています。

(問) 大臣として特に、これは絶対、是非とも被災地で実現したいというような、特に五輪に関連してありましたらお願いします。

(答) それは今言ったように、もう何としても、一つだけは、最低一つだけは正式競技を東北に持ってこられないかということです。それはやっぱりゼロと1は大違いですから、それはもう最低限、私はお願いしたいなと思っています。そして、そのほかに、今、言われたような、いろいろな取組、楽しい取組を、みんなのアイデアを出してもらって、やっていくということで進めていきたいと思っています。

(問) 先ほど復興庁のグループインタビューで、小池都知事を、五輪に関連して、面会をされたいということで、日にちについて、8日ということよろしいでしょうか。

(答) 8日ぐらいだと今聞いていますが、まだ、知事さんも豊洲移転の問題等もあって、若干ペンディングなところもありますけれども、最優先でお願いしたいと思っています。

(問) 組織委員会のほうには、またいつごろぐらいに行かれるか。

(答) いや、それはまだ決めていませんが、それも早急に、順序からして、まず次は都知事のところに行ってという感じになるのかなと思っています。そういった皆さん、大臣、そして知事の意向も踏まえながら、組織委員会のほうにも、こういうことですから、ひとつよろしくお願いしますという手順になっていくのかなと思っています。

(問) 要請書を手渡されたわけではなくて、口頭で申し入れたということですか。

(答) そうです。

- (問) 正式競技を最低一つでもということに関しては、丸川大臣は、それについてはどういうふうな感触だったのでしょうか。
- (答) よく分かりますけれども、それはいろいろ、組織委員会の関係等もあるから、なかなかそうは、「ええ、やります」とまではなかなか言ってもらえなかったんですけれども、十分気持ちは分かりますということとは、とどめてもらったと思っています。
- (問) 今後また検討していく形になるのでしょうか。
- (答) 是非、せっかく競技が五つ増えるわけでしょう、そういったことも踏まえてお願いしたいなと思っています。
- (問) あと食材について、丸川大臣が話されていらっしゃるけれども、その食材というのは、やっぱり東北とか福島なんのでしょうか。積極的に活用していくというのは。
- (答) そうですね。食材というのは一つの例ですけれども、いろいろなお祭りとか、文化とか、そういったものも含めた、いわゆるソフトの支援というか、そういったものを、もったこの際、アピールしようじゃないのということで理解してもらえればいいのではないかなというふうに思います。
- (問) それは選手の合宿地とかで振る舞ったりとか、そういったことですか。
- (答) もちろんそれも含めて、それから、いろいろなこれから東北の観光の問題もありますが、そういった一連の中で、そういったオリンピックについても食材を提供するということも含めてやっていきたいということですね。
- (問) 今のオリンピックの正式種目、一つでもということだったのですが、そうしますと、今日は突っ込んだ話としては、例えば福島ではソフトというような話も出ていたようなんですが、宮城で何、岩手で何みたいな、突っ込んだような話というのは、そこまではいかなかったということですか。
- (答) そこまではいかなかったですね。ただ、強い我々としては希望を持っていますということは、さっき言ったように、十分受け止めていただいたというふうに思っています。これはもう、さっき言ったように、大臣だけで決める話ではないと思いますから、その先まで踏み込まれなかったと思いますけれども、今後、いろいろなところでやっぱり働きかけていくのが、私の務めだというふうに思っています。
- (問) すみません、最後に申し訳ないんですけれども、正式競技というのは、福島で最低でも一つという、若しくは東北でということでしょうか。
- (答) 東北でということと、今、考えてください。
- (問) 明日、福島に行かれるということで、福島の首長さんだったり

とか、今日の丸川大臣との面会内容について、何か報告されることはありますか。

(答) もちろんそういうことで、強くお願いしてきましたということも言うつもりです。

(以 上)